

新型コロナウイルスの感染が広がるなか、
不安や心配を抱える妊産婦に対応される会員の皆様へ・・・

学会からのメッセージ ⑤（助産編）

妊産婦褥婦の相談窓口についてのご紹介を致します。

現在、市町村保健センターにおいて両親学級、新生児訪問、乳幼児全戸訪問、乳幼児健診などができない状況があるようです。もし支援が必要な妊産婦がいる場合には、医療機関又はご本人から市町村保健センターに連絡していただくと保健師から電話相談を受けることが可能です。また、ご本人の承諾が得られれば家庭訪問を行える場合もあります。

不安が強い、抑うつ傾向がある、心身の不調がある、支援者不在、家族関係に問題がある妊産婦は市町村保健センターに相談し継続した支援を行うようにしてください。

また、助産師が中心となりオンライン相談室、電話相談がはじまっているところもあります。妊産婦が孤立しないように連携した支援をお願いします。

